

【報告事項】令和7年度上半期公民館等事業実施状況について

令和7年度公民館等事業計画に基づき、「主催事業」、「団体育成事業」、「個人学習支援事業」、「貸館事業」の4つを柱に事業を実施した。

《主催事業》

1. 中央公民館

当初計画（令和7年3月公運審）	変更点等
こども対象事業	
1. 親子 SDGs 学習	新規
2. こども工作教室	
3. 冬休み書初め教室	
4. 北総鉄道 探検	
5. お天気の仕組みを学ぼう	新規
大人対象事業	
1. いきいきカレッジ	
2. 健康リンパセラピー講座	
3. 利根川講座 自然と歴史	
4. 彩りのある暮らし講座	
5. こんまり流かたづけを学ぶ	
共催事業	
1. 手賀沼船上親子観察会 (手賀沼流域フォーラムと共に)	
2. Let's サークル体験 夏休みは公民館へGO! (中央公民館利用サークル懇談会と共に)	

●親子 SDGs 学習

事業区分	こども対象事業				
ねらい	SDGs・地球温暖化・ごみ問題・生物多様性保存についての環境学習を行う。				
対象	市内在住者（小学5年生～6年生と保護者）				
定員	12組24人				
受講者数	7組14人				
受講率	58%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月28日（土）	・SDGsってなあに？（ミニ講義クイズ） ・SDGsすごろくで遊ぼう！ ・エコかるたで楽しく学ぼう ・まとめとふりかえり	佐藤秀樹	10人

参加者合計	10人
講座を 終えて	まず、学習の目的の「地球がずっと元気でいられるようにわたしたちにできることってなんだろう」という問い合わせから始まった。SDGsの分類・海外協力の仕事・ちばにちなんだクイズなどの講義のあと、すごろく・かるたでSDGsやエコを遊びながら学んだ。またSDGsのシール等も用意してくださり、子ども達はとても嬉しそうであった。

●こども工作教室

事業区分	こども対象事業			
ねらい	篆刻を体験し、創作の楽しさを知る。			
対象	市内在住者（小学5年生～6年生）			
定員	15人			
受講者数	8人			
受講率	53%			
プログラム	回 1	実施日 8月2日（土）	内容 篆刻体験	講師等 飯島千曲
参加者合計	8人			
講座を 終えて	講師があらかじめ、参加者の彫る候補の文字を示して下さり、彫りやすい巴林石に転写し、彫り始めた。結構難儀するかと思われたが、受講生はきれいに彫り終えた。 最後に全員の作品を並べ、作品の「審査」をすることを経験した。細かな作業であったが、どの受講者も丁寧に彫り上げ、貴重な体験になった。			

●冬休み書初め教室

事業区分	こども対象事業			
ねらい	日本の伝統文化に親しむ機会を設け、講師の指導を受けることで、書初めについて習熟する。			
対象	市内在住者（小学3年生～中学生）			
定員	30人			
受講者数	人			
受講率	%			
プログラム	回 1	実施日 12月20日（土） ※予定	内容 冬休みの課題である書き初めについて、 講師の指導を受けながら練習する。	講師等 吉野 博
参加者合計	人			
講座を 終えて				

●北総鉄道 探検

事業区分	こども対象事業			
ねらい	北総鉄道印旛車両基地を見学し、北総鉄道に関するここと、また、普段見ることができない鉄道車両の			

	構造等を学ぶ。また、共同事業としてすることで、学区・学年を超えて一緒に学ぶことにより、協調性を学び、友情の輪を広げる機会とする。				
対象	市内在住者（小学3年生～6年生）				
定員	25人				
受講者数	22人				
受講率	88%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月21日（木）	北総鉄道印旛車両基地の見学	北総鉄道	21人
参加者合計	21人				
講座を終えて	そうふけ公民館の主催事業（中央公民館は共同）で行った。現地到着後、ヘルメットを着用し、参加者全員で電車に乗り込み洗車機に入る様子を車内から見学した。その後、そうふけ公民館と2班に分かれ、車内アナウンス体験や非常通報装置ブザーを押す体験や車掌と通話する体験などを経験した。また、車両点検作業の見学や車輪を削る場所、車体を持ち上げて点検する場所等を見学した。参加した子ども達は車両基地を見学したこと、電車の安全運行は点検、修理、清掃など多岐にわたる作業によって守られていることを理解することができた。				

●お天気のしくみを学ぼう

事業区分	こども対象事業				
ねらい	ゲリラ豪雨など激しい気象の変化がみられる近年、お天気のしくみをわかりやすく学ぶ。				
対象	市内在住者（小学3年生～小学6年生）				
定員	20人				
受講者数	20人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月24日（木）	気象現象のメカニズムや天気予報のしくみを学ぶ	銚子地方気象台 田中智也 服部友貴	16人
参加者合計	16人				
講座を終えて	講師達は、受講生と「対話」をしながら、講座を進められ、受講生を楽しませる工夫がみられた。「どうして風はふくの」、「雲はどのようにできるの」、「台風ってなに」、「台風の影響」、「台風が来る前に」と各所に実験も加え、台風についてお話された。 休憩タイムには、「風向風速計」、「雨量計」の実物を持参くださり、触れる機会をいただけた。この講座は親子で受講していただいても、よかったかもしれない。おとなでも「納得」できる内容であった。				

●いきいき力レッジ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	シニア世代が地域の歴史・健康な体づくり・心を豊かにする創作活動など「知」「徳」「体(栄養含む)」の総合的な学習を学ぶことにより、生活改善を考えてもらうきっかけづくりをする。また、講座を通して生きがいづくり・仲間づくりにつなげることなどにより、これから的人生を「生き活き」と過ごしていくことの支援を目指す。				

対象	市内在住者（50歳以上）			
定員	20人			
受講者数	15人			
受講率	75%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	5月15日（木）	高齢者福祉と介護保険	高齢者福祉課
	2	6月19日（木）	悪徳商法撃退術	印西市消費者センター
	3	7月17日（木）	世界を知る - JICA シニアボランティアの活動を聞く	千葉 JICA シニアボランティア
	4	9月18日（木）	知って得する生活習慣改善術	健康増進課
	5	10月16日（木） ※予定	千葉西部防災センター見学	センター職員
	6	11月20日（木） ※予定	3B 体操体験	3B 体操体験
	7	12月18日（木） ※予定	グラスアート	風岡明美
参加者合計	57人			
講座を終えて	<p>第1回「高齢者福祉と介護保険」（出前講座）は保険法制度は、①高齢者の自立を支援②利用者本位③給付と負担の関係が社会保険方式を採用している。介護保険法第1条にあるように「尊厳を保持し、自立した日常生活が営めるように」と自立支援を目指すことを目的として制定された。高齢化率（総人口に対しての、高齢者人口の割合）が21%を超えると『超高齢社会』となるのだそうだが、印西市は24.5%で立派な超高齢社会である。これから、介護が必要・認知症の方が増え、支える世代が減ることは確実である。しかし視点をかえると、健康で支えあい、「自助・互助・共助・公助」ができるように、自分にできることを考えることが必要であることを学べた。</p> <p>第2回「悪徳商法撃退術」（出前講座）は「賢い消費者に近づけましたか」を目的にそれぞれの詐欺等について解説をされた。「不審なメールは無視」、「こちらから折り返しの電話はしない」「通販にはクーリング・オフ制度はない」「訪問販売・投資詐欺の注意点」や実際にクーリング・オフのハガキを書いてみる等、盛りだくさんの情報があった。「もしもの時にこうした消費者センター等の機関があること」を知り、決して泣き寝入りをしないでもらいたいと思った。</p> <p>第3回は千葉JICAシニアボランティアの出前講座で、講師が活動された国々の様子を中心にお話をされた。その国の様子がよくわかったが、具体的な活動の様子をもっと伺いたかった。どのような知識・経験・技術がどう役に立って、どういう改善がされたか等・・・・。しかし、最後に「世界平和を実現するためにみなさんが出来ること」として受講生にメッセージをいただいた。これは、日常生活の何気ない場面でも、あてはまることがある。国際社会での共存の大切さを改めて実感できた。</p> <p>第4回 まず、健診結果の見方から学んだ。「検査項目と直接関連の強い生活習慣」では、検査項目と生活習慣が対応表にされ、とてもわかりやすかった。それぞれ、項目別に学習できた。食生活・運動・睡眠・喫煙・飲酒についての改善のポイントを教えていただいた。どのようなものをどれくらい食べるか。長い床上時間（8時間以上は死亡のリスク大）、喫煙については、禁煙は1人で頑張らない、飲酒は休肝日を設けることが大切であることを学んだ。</p>			

●健康リンパセラピー

事業区分	大人対象事業					
ねらい	リンパの知識を学びながら、呼吸体操、ヨガストレッチ、リンパマッサージ等を組みいれた身体づくりを体験し、今後の健康づくりに活かすきっかけとする。					
対象	市内在住者					
定員	16人					
受講者数						
受講率						
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者	
	1	10月17日(金) ※予定	リンパの話	秋葉 みどり		
	2	10月24日(金) ※予定	リンパマッサージケアの方法			
	3	10月31日(金) ※予定	全身のリンパケア・日常、続けていきたいリンパ体操			
参加者合計	人					
講座を 終えて						

●利根川講座—自然と歴史—

事業区分	大人対象事業				
ねらい	中央公民館に隣接する「利根川」を手がかりとして、印西地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解しふるさと意識を育みながら、これからのもちづくりについて考える機会を提供する。				
対象	市内在住者				
定員	20人				
受講者数	7人				
受講率	%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	9月19日(金)	利根川の歴史	矢嶋 豊之	6人
	2	10月11日(土) ※予定	利根川と文学	秋山 笑子	
	3	11月21日(金) ※予定	第一機場・北千葉導水路の見学	第1機場・ビジターセンター	
	4	12月13日(土) ※予定	江戸時代の治水の仕法		
参加者合計	人				

講座を 終えて	・印西市の北側を流れる「利根川」。国内第2の長さを誇る川で「坂東太郎」の異名を持つ暴れ川であった。徳川家康により、江戸湾から銚子に流路がかえる基礎がつくられた。しかし、徳川幕府の正史である『徳川実記』には、東遷の記事がない。講師もなぜかわからないということで、新しい資料の出るのを待ちたい。東遷によって、被害の大小はあれ、毎年のように洪水に襲われるようになった。これは、利根川の氾濫のみならず、印旛沼、手賀沼に流入する河川の増水にもよるものである。明治期になっても、洪水との戦いは続いた。明治29年の河川法の制定（高水工事の実施）、明治33年、流域200kmの堤防改修工事、利根運河・江戸川放水路の完成等をみたが、昭和に入ってからも大洪水を引き起こした。昭和31年、手賀沼排水機場の完成を経て、利根川との永い戦いは収束した。利根川の歴史を水害に視点をおいての講義であった。

●彩りのある暮らし講座

事業区分	大人対象事業				
ねらい	創作・工芸など作る喜びを体感し、想像力・表現力を養いながら手作りの作品で生活に彩りを添えていく。また、自然の物に触れることや手先を動かすことは、ストレス緩和や認知症予防などに繋がると言われており、それらの一助とする。				
対象	市内在住者				
定員	第1回 15人		第2回 16人		
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	11月6日（木） ※予定	～わら細工で縁起物の亀をつくってみよう～	岩井 猛和 他	
	2	1月16日（金） ※予定	お皿の染め付け体験	俵 順子	
参加者合計	人				
講座を 終えて					

●こんまり流かたづけを学ぶ

事業区分	大人対象事業					
ねらい	整理収納の基礎と実践的な整理収納術を「ときめくものを選ぶ」視点でかたづけを進めるこんまりメソッドを学ぶ。					
対象	市内在住者					
定員	15人					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者	
	1	11月28日（金） ※予定	整理整頓・片付けの基礎を学ぶ	俵 順子		
	2	12月5日（金） ※予定	こんまり流ときめきの収納術を学ぶ			
参加者合計	人					
講座を						

終えて	
-----	--

●手賀沼船上親子観察会（手賀沼流域フォーラムと共催）

事業区分	共催事業				
ねらい	手賀沼について、環境啓発を行っている市民団体の手賀沼流域フォーラムとの共催で、手賀沼の環境・浄化対策について、座学で学んだあと、六軒川・弁天川・手賀川の自然環境を船で実見し、自然環境の保全と共生について親子で考える機会を提供する。				
対象	市内在住者（小学生と保護者）				
定員	10組20人				
受講者数	18人				
受講率	90%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月26日（土）	手賀沼の環境についての座学及び六軒川・弁天川・手賀川・手賀沼を舟で巡り、手賀沼の自然環境を観察する。	(講義) 水と暮らしを 守る会 (乗船体験) 印西市観光協会	18人
参加者合計	18人				
講座を 終えて	熱中症警戒アラートが発令され、印西市観光協会と協議し、受講者の体調を考慮のうえ出航を取りやめ、内容を変更した。印西水と暮らしを守る会が講義時間を延長し、事業が完結できた。①私達の飲み水・捨て水では、受講生に付箋に書いてホワイトボードに貼りつける、参加型をとり、②手賀沼と流域の外来水生植物については、パワーポイントで紹介された。この外来水生植物（ナガエツルノゲイトウ）は印旛沼から入り込んだと聞いたことがあるが、一度壊れた生態系を元に戻すことの難しさを理解できた。環境を守ること・環境を壊さないことを考える講座として、また形を変えて実施できればと思う。				

●Let's サークル体験 夏休みは公民館へ Go ! （中央公民館利用サークルと共催）

事業区分	共催事業				
ねらい	中央公民館利用サークルとの共催で、夏休みの期間を活用し、小・中学生に希望するサークル活動を体験する機会や、世代間交流の場を提供する。				
対象	市内在住者（小・中学生）				
定員	10人				
受講者数	6人				
受講率	60%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月3日（日）	バルーンアートを体験する。	バルーンアートサー クル ピッコロ	4人
参加者合計	4人				
講座を 終えて	バルーンアート入門用の剣・花・花のプレスレットの3つを作った。今回の、参加はお母さんと姉妹（姉弟）の2組になってしまったが、風船を器用にねじり、楽しく風船の作品を作っていました。今回は				

参加した親子が、ピッコロの活動に興味を示され、活動を見学したいということであった。
「親子で楽しんでできた」と事業後のアンケートにあったが、「親子で」にヒントがあるように思える。

2. 小林公民館

当初計画	変更点等
こども対象事業	
1. 親子コンサート	事業名変更 天使の木親子コンサート 回数を2回から1回へ
2. 科学実験講座	事業名変更 すごくよく飛ぶ紙ひこうきを作ろう
3. 科学実験講座	事業名変更 タンパク質を抽出して酵素で分解してみよう！ SDS-PAGE 実験
4. 職業体験講座	新規 事業名変更 薬剤師にレッツ・トライ！
5. 部活見学	
5. クリスマス会（小林図書館共同事業）	
大人対象事業	
1. 小林カレッジ（全7回）	
2. 世界遺産講座	新規 事業名変更 美しい世界遺産の話（全2回）
3. ピラティス講座	事業名変更 姿勢をきれいに！ピラティス講座（初級編） 新規 事業名変更 ぼっこりお腹解消！メンズピラティス
4. リンパセラピー講座	事業名変更 免疫力アップ！リンパセラピー講座
5. フラワーアレンジメント講座	事業名変更 季節のフラワーアレンジメント
6. スマートフォン講座	新規
7. アンプラグドミニミニコンサート	事業名変更 小林アンプラグドミニミニコンサート
8. 展示ギャラリー	

●天使の木親子コンサート

事業区分	こども対象事業				
ねらい	季節に沿ったテーマの音楽や歌を親子で一緒に楽しむ中で、安らぎや情操感を育てる。 乳幼児の子を持つ若い世代に公民館の事業に参加する場を通して、施設に关心や親しみを持つきっかけとする。				
対象	市内在住者（0～5歳の子とその保護者）				
定員	20組				
受講者数	20組				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月25日（金）	テーマ【夏！】 うた、ピアノ演奏、リズムあそび、海の布あそび、船のカード、お話	天使の木 うた 山㟢 佑希子 ピアノ 市川 未緒 ピアノ 堀野 りか	19組 44人

参加者合計	19組
講座を終えて	<p>今回の募集は広報に昨年のコンサート風景を写真掲載したこともあり、子育て世代の申込みが順調であった。対象は0～5歳の子とその保護者でしたが、諸事情により平日開催となった為、3～5歳児と父親参加が少なかった。0～2歳が多かったので受付もコンサート開始の15分前からとし、待つ時間を短くした結果、集中力がとぎれなかった。演奏のテーマは「夏！」とし、季節の歌やピアノ、青の大きな布で海の波を、シャボン玉を吹いて海の泡をイメージして遊んだ。また、天井からは、魚やプリズムのモビールを下げて、立体的に装飾した。簡単製作のカード作りは船の形とし、開くと親子の写真が飛び出すしきけになっており、保護者は記念になると喜んでいた（写真は、開始まえにポラロイドで写真を撮った）。ピアノの連弾は、聴き馴染みのある映画の主題歌「SUMMER」の曲で大人はしっとりと聴き入っていた。絵本は、参加者の年齢を考え「生まれてきてくれてありがとう」に選び直した。全員がどの場所においても見ることができるように、ホワイトボードに絵本を映像で映し出し、講師の声とピアノのBGMで、皆、飽きることなく見入っていた。その流れで講師が「天使の糧」という曲をソプラノで歌い上げた。このコンサートは毎回、始まる前に保護者に向けて、子どもが泣いたり、動き回っていても、耳でちゃんと聴いているので大丈夫だと話しがあり、その為、親も安心して参加している。親と子がそれぞれに楽しむことのできるコンサートとして「天使の木」の名前も定着しつつある。</p>

●すごくよく飛ぶ紙ひこうきを作ろう

事業区分	こども対象事業			
ねらい	航空力学に基づいた紙ひこうきづくりをすることで科学に興味を持つ体験をする。			
対象	市内在住の小学生			
定員	20人			
受講者数	12人			
受講率	60%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	8月10日（日）	やり型・セミ型の紙ひこうきを作る。 がくねん 的に向かって紙ひこうきをとばす。	吉村 龍雄
参加者合計	12人			
講座を終えて	<p>子どもたちが紙ひこうきの仕組みや折り方に興味を持ち、上手く飛ばしたいと思う気持ちから、真剣に講師の話を聞く姿が印象的だった。やり型・セミ型という2種類のひこうきを作成することで、それぞれの飛行特性の違いの体験や揚力、重力等の航空力学の一端に触れる経験ができた。一列に並んで、飛行距離や的（かさの中）にめがける競争では、子どもといっしょに付添いの保護者も熱心に参加され、会場も多いに盛り上がり、親子で学び、応援し合い、楽しむ内容となっていた。身近なA4サイズの上質紙を使い子どもの創造力や集中力を引き出すことが出来、親子での交流が自然と生まれる有意義な講座として、今後も継続的に実施したいと考えている。講師は、明るく子どもと楽しむことを第一に考える姿勢で取り組まれ、子どもたちの反応も良く、積極的に質問をすることも多かった。参加した子どもや保護者から「こんなに長くとぶんだ」と感嘆する声も聞かれた。開催時期は、夏休み前半が望ましいが、今年度は選挙もからみ、7月の開催は出来なかった。次回は別のタイプの紙ひこうきの作成</p>			

	や新しい競技も広がりそうである。ホールの大きさに対しての参加人数であるが、安全面の配慮として再検討したい。
--	---

●筋肉のタンパク質を抽出して酵素で分解してみよう SDS-PAGE 実験

事業区分	こども対象事業						
ねらい	タンパク質の実験を通して、実験の過程や結果を肉眼で観察し、科学の楽しさに気付く。						
対象	市内在住の小学1～3年生 16人 小学4～6年生 16人						
定員	各回16人						
受講者数	1回目 小学1～3年生 11人 2回目 小学4～6年生) 12人						
受講率	1回目 50% 2回目 75%						
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者		
	1	8月2日（土）	キウイフルーツの酵素でタンパク質を分解して、SDS-PAGE(タンパク質を大きさによって分離する実験方法)を用いたタンパク質の見える化を行い観察する。	現 明治大学農学部 助教 大和屋 健二	8人		
	2	8月9日（土）			10人		
参加者合計	18人						
講座を終えて	<p>本講座は、グリーンキウイフルーツに含まれる酵素（アクニジン）の働きを利用して、鶏肉のタンパク質を分解する実験を行った。キウイをミキサーで液体にし、ガーゼで果肉と液体に分離した後、その液体を細かく切った鶏肉に加え、一定時間反応させる。その後、SDS-PAGE を用いて電気泳動を行い、タンパク質の見える化を行った。</p> <p>低学年は、初めて聞く科学用語に困惑する様子もあったが、真剣に講師の話に耳を傾け、ノートを取っていた。マイクロピペット（スポット）の使用時には慎重に操作しようとする姿勢が見られた。また、電気泳動装置（タンパク質等の分子を電気の力で動かし、種類や大きさごとに分ける機器を使った実験）では、結果が目に見える形で現れるので、装置のそばから離れない子もいた。</p> <p>高学年は、酵素の働きや電気泳動の仕組みに対して、より深い関心を示し、積極的に質問をしていた。マイクロピペットの操作にも慣れが早く、正確に液体を扱う姿が印象的だった。実験の様子を携帯で撮影する姿も多かったが、細かい実験結果のデータの名称については、講師が、昨年同様に館に送ってくれた。講師は、実験経過は、ノートに書き、自分で考え、調べることが大切であると伝えている。今回も保護者の見学もありとした。安全面として部屋まで保護者は送迎することを徹底すべきと感じた。</p>						

●薬剤師にレッツ・トライ！

事業区分	こども対象事業				
ねらい	薬剤師の役割や簡単な仕事の体験を通して、将来の目標の一助とする。				
対象	市内在住者（小学5年生～中学生）				
定員	21人				
受講者数	21人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者

	1	8月8日（金）	薬剤師とは何か、薬剤師になるには？ 漢方薬を使った葛根湯の作り方を見たり、軟膏作りを体験する。	(株) 健栄 コスモス薬局（印西店）	18人
参加者合計	18人				
講座を終えて	<p>当初は、中学生対象の事業として、薬剤師にレッツ・トライ！を計画したが、小学校高学年も対象枠とした。募集は、広報掲載も目につきやすい名前として、薬剤師体験から薬剤師にレッツ・トライ！に変更し、ちば電子サービスとスクリレを使用した。申し込みに、中学生と小学校高学年の兄弟も3組ほどいたため、定員を超え、受講決定をした。申し込み人数が多いことから、講師の薬剤師が1名から2名になり、コスモス薬局の本部(株)健栄から2名の協力があった。内容は、薬剤師の仕事内容や資格取得までの道筋、技術を、講座と体験の二部構成とした。参加者は、白衣を着て、ジュニア薬剤師の「名札」を付け、前半は緊張気味であったが、漢方での葛根湯作りを見たり、軟膏作りの体験では2種類の軟膏をヘラで混ぜ、容器に入れ、薬袋も用意した。体験では、薬剤師の仕事を垣間見ることが出来た。ただ、軟膏作りに時間がかかったため、患者と薬剤師の窓口体験は、時間が足りず、全員は経験できなかった。次年度は、定員を考慮し、小学生と中学生を分け、体験を増やした内容を考えたい。終了時に修了証書を薬剤師から受け取り、この体験が薬剤師にさらに興味を持ち、将来への一助になればよい。</p>				

●学校部活見学

事業区分	こども対象事業				
ねらい	高校生のいきいきとした部活動を実際に見たり、競技等に接する中で、近い将来の期待感や希望を持たせる。				
対象	市内在住者 小学5～6年生、中学1～3年生				
定員	16人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	1月 ※予定	高校部活動見学	成田高等学校	

●クリスマス会（共催：小林図書館）

事業区分	こども対象事業				
ねらい	読み聞かせや音楽などを通して情操を育み、季節の楽しい思い出をつくる。				
対象	幼児・小学生とその保護者				
定員	50組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月 ※予定	読み聞かせ、人形劇など 季節のうたやピアノの演奏	小林親子読書会 かたつむり（公民館定期利用団体） 天使の木 図書館職員 公民館職員	

●第29回 小林カレッジ

事業区分	大人対象事業			
ねらい	市民が健康で明るく豊かな生活を送るために、幅広い分野に目を向け、生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりの一助を図る。			
対象	市内在住者（50歳以上）			
定員	25人			
受講者数	25人			
受講率	100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	5月 24日（土）	漢字と小林地区	河邊 久男
	2	6月21日（土）	著書 灯台旅について	藤井 和雄
	3	7月5日（土）	香道 ~香の世界~	藤乃香 香道直心流 師範 高野 香聖
	4	9月20日（土）	シニアヨガと健康の話 一部「運動とお薬の関係について」 二部「座ってヨガ」	一部（株）健栄 コスモス薬局 印西店 薬剤師 菅井 遥香 二部 ヨガインストラクター 友井 純子
	5	10月 ※予定	施設見学 竹中工務店技術研究所	竹中工務店 職員
	6	11月 ※予定	フォトフレームにトールペイントで模様をつけよう	マラライサークル講師 明保能 勝江
	7	12月 ※予定	小林シニア男声合唱団と 歌おう 閉校式	小林シニア合唱団講師 木村 奈緒美
参加者合計	74人			
講座を 終えて	第29回 小林カレッジが開催となった。受講生の申込みの特徴として12名は（リピーター）、7名（前回からの受講者）、新規6名で男性8名、女性17名で構成され、年代は50代から90代である。前年度受講者からの引き続き申し込みがあったことは、プログラムを高齢者向けに限定せず、あらゆるジャンルに目を向けた成果を感じた。受講生がいつも新鮮な気持ちで学ぶことができるよう、同じ内			

容が重複しないように意識している。開講式は館長挨拶とオリエンテーリングを行った。受講生の自己紹介では、「退職してからの学び直しをしたい」「プログラムが楽しそう」「年齢が近い方が多く安心した」「小林カレッジが生きがいで毎年申込んでいる」という声が聞かれた。第1回は河邊氏による『漢字と小林地区』という内容で、各地域の歴史や伝説にまつわる漢字の話や漢字の意味を学んだ。京都の大文字焼きは、本当は犬だったのではないかという謎めいた説も受講生の興味を引いていた。小林近辺の大出産やお嫁さんの出産の話、難しい漢字の覚え方等、ホワイトボードに漢字が一面と書かれ、受講生は熱心にメモを取っていた。

第2回目は、退職後のライフワークとして日本全国の灯台を巡り、「灯台旅」という写真集を出版している元会社員の藤井氏による講座。小林公民館のロビーで知り合い、この講座に繋がった。受講生は、退職後の生きがいを探している方も多いので、この講座に参加し、受講生の生きていくヒントになると感じた。灯台の歴史や特徴、様式美は灯台によって違いがある。灯台を日本に持ってきたのはイギリス人であり、灯台の建築様式、ライトもイギリス製であった。現在では、LEDに変わり、昔の温かい光を出すライトはもう使われない。藤井氏が選んだ灯台も映し出され、岬に灯台がなかったら景色はつまらない単調なものになるだろうということであった。受講生からの質問は、灯台守について、灯台が出てくる映画や文学についても話がよんだ。

第3回は、日本の伝統というテーマで『香道』を行った。香道は平安時代に遡り、天然の香木を焚き、立ち上がる香りを文学や四季、情景と結びつけて鑑賞する日本独自の芸道である。立式で香席を作り、講座と2種類の聞香体験をした。藤乃香 直心流 高野氏のお点前は美しい所作で厳かで静寂が満ちていた。初めて、香道に触れる受講者も多かったが、この講座を通して、香道の香とともにその時の情景や、静けさの中で自分を見つめ直すということを学習した。部屋は和室1、2を使い、講座部屋と着物の中に香を炊く伏籠点前、香席に使用するお道具類を飾り、講師のお弟子さんのサポートも受けながら、香道というものを学習した。

第4回は、(株)健栄 コスモス薬局 印西店を講師に、一部は薬剤師から「運動とお薬についての話」、二部は「座ってヨガ」を行った。受講生は一部の話を念頭に置きながら、二部のヨガをスタートした。講師の指導のもと、深い呼吸をしながら、腕を左右に曲げる、足を伸ばす、腰を捻る、椅子の後ろに立ち、スクワットをしたりした。一つの動きが終わると、合掌をする。誰にも無理なく1時間の行程を終えた。講師の友井講師は柔らかい印象で、声量もちょうどよく、受講生の年齢や体力に配慮しながら、声掛けや水分補給をするように指示をしていた。受講生にとても好評で、帰りに皆、講師に声をかけていた。もう少し運動を続けられるというタイミングで終了し、受講生はもっとヨガを楽しみたい雰囲気が感じられた。次年度のプログラムに入れる予定

●世界遺産講座

事業区分	大人対象事業			
ねらい	世界遺産の楽しさを知る中で各国の歴史や地理、文化を学ぶ。			
対象	市内在住者			
定員	25人			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	10月（土） ※予定	美しい自然遺産の話	NPO 法人 世界遺産アカデミー マイスター認定講師

			西脇 英子	
2	11月（土） ※予定	美しい文化遺産の話	NPO 法人 世界遺産アカデミー マイスター認定講師 西脇 英子	

●免疫力アップ！リンパセラピー講座

事業区分	大人対象事業				
ねらい	リンパの知識を学びながら、呼吸体操、ヨガストレッチ、リンパマッサージなどを組み入れて、健康な体づくりを体験する。				
対象	市内在住者				
定員	18人				
受講者数	18人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	
	1	6月5日（木）	リンパとは何か 全身のリンパの流し方 呼吸体操	NPO 法人トータルバランス療法 リンパマスター 秋葉 みどり	
	2	6月12日（木）	呼吸体操・ストレッチ 二人組で行う上半身のリンパマッサージ		
	3	6月19日（木）	総復習 二人組で行う下半身のリンパマッサージ		
参加者合計	46人				
講座を終えて	<p>身体のリンパ節やリンパの流れを学ぶことにより、体温を上げ、免疫を上げることが出来る。この事業は、講師の説明は、難しい言葉は一切使わず、理解しやすい。身近に健康の大切さを感じることができる。動きも無理がなく、場所もどこにいても取り入れができるので、人気が高い。毎日、太陽の光を浴び、深呼吸をする、そして鎖骨回りと脇の下のリンパをマッサージすることを一日の始まりにすることができる、リンパマッサージへの第1歩である。身体の四大リンパ節は①鎖骨リンパ節②脇の下③脚のつけね④膝のうしろにある。汗のかきやすい場所である。リンパマッサージは、肩や鎖骨まわりから、全身くまなくマッサージしていく。足の指や足の裏は日々、忘れる場所なので、意識して動かすことが大事である。また、背中は一人では出来ないので、身近なひとつマッサージをすることを講師は推奨していた。受講中は、となりの人と手や背中、臀部から足の裏のポイントになる場所もマッサージしあった。なかには、初めての相手とのマッサージにおいて遠慮している様子も伺えた。</p> <p>アンケートにおいては、全身にリンパがあるということを初めて知り、リンパを流すことが身体にとっても良いことがわかったと好評であった。</p>				

●季節のフラワーアレンジメント

事業区分	大人対象事業			
ねらい	季節感のある作品を作りながら、花のある生活空間を楽しむ。			
対象	市内在住者			
定員	16人			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	10月（土） ※予定	カボチャがのぞく楽しいフラワーアレンジメント	野の花クラブ 榎 倫子
	2	11月（土） ※予定	キャンドル灯る大人のフラワーアレンジメント	野の花クラブ 榎 倫子

●姿勢をきれいに！ピラティス講座（初級編）

事業区分	大人対象事業				
ねらい	胸式呼吸を用いながら、ストレッチを中心とした動きで、体の筋肉をしなやかで丈夫に鍛える運動を体験する。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	22人				
受講者数	22人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	
	1	5月27（火）	身体の歪みをチェックする動き 正しい胸式呼吸の仕方を学ぶ。 インナーマッスル（腹筋、背筋骨盤底筋）を意識する動きを意識する動きを何種類か取り入れ、身体の安定性を意識する。	土井 さやか	
	2	6月3日（火）			
	3	6月10日（火）			
参加者合計	48人				
講座を終えて	小林公民館の運動講座としてピラティス講座は、毎年度、人気が高い。年に2回開催し、3回コースで行っている。広報のタイトルに「姿勢をきれいに！」というワードを入れるのも目を引くポイントになる。募集に年代は入れてはいないが、50～70代後半の女性の割合が高いようだ。近年では、夫婦や男性の参加も目立ってきてている。講師は、受講生の年齢構成を見ながらメニューを考える。ピラティスは、動きは地味であるが、はじめての体験者にはきつい面もあるので、講座のスタート時には必ず、「自分の体調に合わせて、無理をせずにいましょう。」と声をかけている。動きがきつそうな受講生には、側に行き、丁寧で適切なアドバイスを行っていた。ピラティスは、常にお腹をへこませている状態をキープしつつ、胸式呼吸で身体をゆっくりと動かしていくので、慣れるまでは時間がかかるが、脂肪燃焼には一番効くという。ピラティスは、骨盤を立たせる、股関節を広げる、背骨を意識しなければな				

	らないが、身体の柔軟性もポイントでそれには呼吸が重要である。受講生に向けて講師は、一つの動きも持続することによって身体は変わっていくことを強調されていた。講師のソフトな考え方と相成り、この講師に教えてもらいたいという声もよく聞く。今回の受講生は運動体験者も多く、熱心に事業に参加していた。アンケートにおいて、中級コースも作ってほしいという声もあった。
--	---

●ぽっこりお腹解消！メンズピラティス

事業区分	大人対象事業			
ねらい	胸式呼吸を用いながら、ストレッチを中心とした動きで、体の筋肉をしなやかで丈夫に鍛える運動を体験する。			
対象	市内在住・在勤者			
定員	16人			
受講者数				
受講率				
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	10月 ※予定	ピラティスの胸式呼吸をしながら、ストレッチを行う。	土井 さやか
	2	10月 ※予定		
	3	10月 ※予定		

●小林アンプラグドミニミニコンサート

事業区分	大人対象事業			
ねらい	地域で活躍する個人や団体に発表の機会や地域の交流の場として、公民館と参加者、出演者が皆で作っていくコンサートとする。 音楽をとおして地域の活性化に繋げていく。			
対象	市内在住者			
定員	自由参加			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	4月 9日（水）	テーマ 春のうた	齋藤 和夫
	2	4月16日（水）	演奏（参加者リクエスト式）	カラフルスタイル
	3	5月15日（水）		
	4	6月18日（水）		
	5	7月 2日（水）	テーマ 夏のうた	齋藤 和夫
	6	7月16日（水）	演奏（参加者リクエスト式）	カラフルスタイル
	7	8月20日（水）		
	8	9月18日（水）		
	9	10月 ※予定		

	10	11月 ※予定			
	11	12月 ※予定			
	12	1月 ※予定			
	13	2月 ※予定			
	14	3月 ※予定			
	15	4月 ※予定			
	16	5月 ※予定			
参加者合計		133人			
講座を 終えて		小林地域に根付いたコンサートであり、音楽を聴き、共に歌うことで参加者に一体感がうまれ、月に一度のコンサートを楽しみにしている参加者が多い。小林地区の住人や演奏者、公民館の職員と一体感が生まれ、コミュニケーションの場、情報発信にもなっている。			

●展示ギャラリー

事業区分	大人対象事業				
ねらい	芸術、文化の振興及び支援を目的として、制作した作品の発表・展示ができる場所を提供する。1階ロビーを主に使用して、サークル等に限定せずに広く一般市民にも展示場所を提供する。				
対象	市内在住者				
定員	一				
展示団体数	団体5、個人1				
受講率	一				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	4月2日（水）～ 4月16日（水）	トールペイント作品の紹介	マラライサークル	一
	2	4月17日（木）～ 5月1日（木）	トールペイント作品の紹介	マラライサークル	一
	3	7月10日（木）～ 7月23日（木）	トールペイント作品の紹介	マラライサークル	一
	4	7月24日（金）～ 8月 7日（木）	私の昭和 粘土人形作製と詩	鈴木 達也	一
	5	9月 5日（金）～ 9月18日（木）	トールペイント作品の紹介	マラライサークル	一
参加者合計	一				

講座を 終えて	自己表現の場として、作品を多くの人の目にふれることにより、出品者の新たな創作意欲を高めることが出来た。
------------	---

3. そうふけ公民館事業計画

当初計画（令和7年3月公運審）	変更点
こども対象事業	
1. おこづかいから学ぶお金の話	
2. プラネタリウムで星をみよう	
3. 科学あそび	7月→8月へ実施月変更
4. 北緯鉄道見学	
5. テレビ局の仕事をのぞいてみよう！	
6. イラスト講座	
7. スポーツキッズ	7月→11月へ実施月変更
8. ふれあい大会	
9. おはなし会スペシャル	
大人対象事業	
1. 将来に向けて知っておきたいお金の話	
2. スマホ講座	
3. 順天堂大学さくらキャンパス見学	
4. 体幹をきたえよう！	
5. お正月飾りを作ろう！	
6. 子どもが喜ぶおかずケーキ	講座名「こどもが喜ぶおかずケーキ」に変更

●おこづかいから学ぶお金の話

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	将来に向けてお金の基礎知識について学ぶ。			
対象	市内在住者（小学4年生～6年生）			
定員	20人			
受講者数	10人			
受講率	50%			
プログラム	回	実施予定月	内容	講師等
	1	6月7日（土）	お金について、使い方や貯め方、トラブルについて学ぶ。	金融経済教育推進機構
参加者合計	9人			
講座を終えて	<p>お金の使い方について、おうちの人と相談して使い道を決めることや、おこづかい帳で管理することが大切というアドバイスをもらい、お金の大切さが理解できたようだった。保護者の参観も受け入れたが、半数くらいが受講していた。</p> <p>令和6年度末計画時は社会情勢的に株・投資がブームとなり、人気の講座になることを期待して「お金についての講座」をこども対象と大人対象の2講座を計画したが、結果受講生の集客に苦慮した。時代のブームに対応した講座は、時期や年代、地域性を考慮し計画することが重要だと再確認した。</p>			

● プラネタリウムで星をみよう（児童館と共催）

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	自然科学を体験し楽しさを学ぶ。			
対象	市内在住者（小学生と保護者）			
定員	午前の部20組 午後の部 各20組			
受講者数	午前の部20組 午後の部 各20組			
受講率	100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	7月30日（水）	移動プラネタリウムによる星空見学を親子で楽しむ。	つくば科学 万博記念財団
参加者合計	午前の部17組 42人 午後の部 各18組 43人 計35組 85人			
講座を終えて	<p>今年度は保護者との参加とし、共通の体験をすることで更に星空に興味関心を深めて家族と楽しんで欲しいという目的とし、アンケートからも「一緒に楽しめた」という感想を多くいただいた。ちば電子申請サービスのみ（先着順）の申し込みで、両時間とも募集日の7月1日に定員となった。今年度で3年目の実施となり、定着化され、目玉の事業となってきたようだ。保護者へQR付きのアンケート用紙を受付時に配布したが10名のみの回答で終わった。ドーム内は暗く子どもを待たせられないということから、その場でQRを読んでもらう等の勧奨ができず回収率や方法については今後の課題となった。</p>			

● 科学あそび（図書館と共催）

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	身近な材料を使って科学を学べる工作や実験を行い、楽しみながら科学を学ぶ。また科学体験を通して新たな発見や物づくりの楽しさ味わう。			
対象	市内在住者（小学3年生～6年生）			
定員	16人			
受講者数	16人			
受講率	100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	8月1日（金）	楽しみながら科学を学ぶ工作、実験をする。	松田 治久
参加者合計	14人			
講座を終えて	<p>集合してきた参加者に講師が積極的に声をかけていたので、ほぐれた雰囲気の中で開始することができた。紫キャベツの液に、重曹水、石けん水、水、レモン水、酢をそれぞれスポットでカップに移す作業も集中してを行い、色の変化を記録用紙に書ききれないほど記入していた。</p> <p>今年度は、ちば電子申請で抽選方式にしたところ、申込者は52人となった。来年度は小倉台図書館が改修工事のためお休みになることを考えると、そうふけで同じ日に2回行うことも検討したい。</p>			

●北総鉄道見学

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	北総鉄道印旛車両基地の車両を見学し、地域の交通について学ぶ。			
対象	市内在住者（小学4年生～6年生）			
定員	25人			
受講者数	25人			
受講率	100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	8月21日（木）	北総鉄道印旛車両基地の車両を見学する。	北総鉄道株式会社職員
参加者合計	24人			
講座を終えて	<p>そうふけ公民館、中央公民館に分かれ見学し、車両基地車庫では検査点検方法の説明を受け、安全が守られていることの確認もできたようだった。車内見学では、車両洗車を体験し、その後車内アナウンスや、普段乗客としては触ることのできない車内非常通報装置のプラーを自由に押して楽しい中にも重要性についても学ぶことができた。興味の差はあったが、全体的に落ち着いて見学し、質問を積極的にしている姿も見られた。撮影可としたことで、デジカメやスマホをほとんどの子が持参していた。</p> <p>申し込み方法は、QRからのちば電子申請サービスによる申し込みのみで、58件64名の申し込みがあり抽選となった。スクリレの効果でQRからの申し込みは、若い層に定着してきたようだ。先着順ではなく抽選にしたことで、落選者が待機者として確保でき、キャンセル対応もスムーズにできた。</p>			

●テレビ局の仕事をのぞいてみよう！

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	メディア企業による番組制作の舞台裏話やロールプレイングによるアナウンサー体験を通し、メディアの仕事を学ぶ。			
対象	市内在住者（小学4年生～6年生）			
定員	24人			
受講者数	38人（募集の結果、講師と相談し全員受講とした）			
受講率	100%			
プログラム	回	実施予定月	内容	講師等
	1	9月20日（土）	アナウンサー・ディレクターなどの体験を通し、テレビの裏側の仕事について学ぶ。	株式会社テレビ朝日
参加者合計	34人			
講座を終えて	<p>前半はVTRを観ながらテレビのニュースができるまで、後半はアナウンサー、ディレクター、タレントの役割に分かれて実践した。講師から仕事内容のポイントの指導を受け、机ごとに3人1組で役割を決めた。時間内にアナウンスを収めるという課題に、それぞれの役割の意味やチームとしての協同作業、1秒の大切さを体験し、初めてのこども達にもうまくいった時の達成感や、うまく</p>			

いかなかった時の課題がわかりやすい体験だった。受講者を増員したことで、時間の延長や、飽きてしまうのではと心配したが、予定していた時間内に終了し、他のグループの発表も傾聴していた。参観した保護者にも回収率をあげるためその場でQRのアンケートを読み込んでもらい、回答から好評だったことが確認できた。

●イラスト講座

事業参加者	こども対象事業					
ねらい	漫画家講師から指導を受け、漫画が上手に書けるアドバイスをしてもらい、知識や技術・技能に触ることを通じて楽しみながら達成感を味わう。					
対象	市内在住者（小学生以上）					
定員	8月：ペン入れコース25人　　ステップアップコース15人 12月：ペン入れコース25人　　ステップアップコース15人					
受講者数	8月：ペン入れコース25人　　ステップアップコース15人					
受講率	8月：ペン入れコース100%　　ステップアップコース100%					
プログラム	回	実施日	内容	講師等		
	1	8月5日（火）	講師の用意した下書きにペンを入れて、漫画の下書きを仕上げていく。	栗原 静香		
	2		自分で描いたイラストを添削してもらう。			
	1	12月 ※予定	講師の用意した下書きにペンを入れて、漫画の下書きを仕上げていく。			
	2		自分で描いたイラストを添削してもらう。			
参加者合計	ペン入れコース25人　　ステップアップコース16人					
講座を終えて	ペン入れコースでは、先生が用意した絵をペンでなぞって影の入れ方や線の強弱など、上手にペン入力できるコツを教えてもらった。集中時間としては1時間が限度のようだった。ステップアップコースでは、自分で描いたイラストをみんなでみて、上手にかけるアドバイスを共有した。ポジティブシェイプ（シルエット）を想像して余白を少なく、手や足の角度などは写真を撮ってよく見て、左右対称、紙いっぱいに描くことなどを観点に指導をうけた。 両コースとも「ちば電子申請サービスQRから」のみで募集（抽選）とし、①ペン入れコース申し込み者は59件72人②ステップアップコースの申し込み者は31件34人となった。抽選倍率は①は約3倍、②は約2.2倍となった。スクリレでの周知が効果的だった。					

●スポーツキッズ（児童館と共催）

事業参加者	こども対象事業			
ねらい	児童期の運動神経がよくなるコツを遊びながら体得し、併せて地域の仲間づくりをする。			
対象	市内在住者（小学1年生～3年生）			
定員	20人			
プログラム	回	実施予定月	内容	講師等

	1	11月 ※予定	バランスボール、風船等を使いながら音楽に合わせて体を動かす。	保育課職員	
参加者合計	人				
講座を 終えて					

●ふれあい大会

事業参加者	こども対象事業				
ねらい	親子のふれあいを目的に、スポーツを楽しむ。				
対象	市内在住者（小学生）				
定員	親子10組				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月 ※予定	スポーツによるふれあい大会（モルック）を親子で楽しむ。	船穂・そうふ け支部社協	
参加者合計	人				
講座を 終えて					

●おはなし会スペシャル（図書館と共催）

事業参加者	こども対象事業				
ねらい	絵本の読み聞かせをすることで、物語の楽しさを感じてもらう。				
対象	3歳から小学生低学年、またはその保護者				
定員	70人				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	3月 ※予定	人形劇・パネルシアターを観る。	市内読書団体 りんごの木	
参加者合計	人				
講座を 終えて					

●将来に向けて知っておきたいお金の話

事業参加者	大人対象事業				
ねらい	将来設計や夢をかなえ、生活を豊かにしてくれる「お金」について資産形成の基礎知識を学ぶ。				
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）				
定員	30人				
受講者数	9人				
受講率	30%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月21日（土）	資産形成の基本から貯める、増やす、金融トラップ	金融経済教育	6人

		ル等お金について学ぶ。	推進機構	
参加者合計	6人			
講座を 終えて	<p>資料に基づきプロジェクトを使用した説明で 100 ページもある資料をわかりやすく説明していたが、ボリュームがありすぎて時間が足りなく、後半の資産形成の制度（NISA 等）の話が詳しく聞きたかったとの意見があった。受講者は子育て世代が多かったのかメモを取り真剣に耳を傾けていた。</p> <p>こども対象事業同様大人対象のお金に関する講座についても、受講生の集客に苦慮した。計画時と実施時の社会情勢やブームを考慮し計画することが重要だと再確認した。</p>			

●スマホ講座

事業参加者	大人対象事業			
ねらい	スマートフォンの使い方について学び、生活を豊かにする。			
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）			
定員	20人			
受講者数	20人			
受講率	100%			
プログラム	回	実施予定月	内容	講師等
	1	7月9日（水）	スマホ講座（基本と防災）を学ぶ。	ソフトバンク 株式会社
参加者合計	18人			
講座を 終えて	<p>前半は基本的なアプリについての説明。地図アプリを使ってパリ旅行、写真の撮り方、音声での検索方法、QRコードの読み取り方法等を習った。</p> <p>後半の防災の説明では「Yahoo!防災速報」アプリを使って災害マップ、避難所の確認、ハザードマップ等の見方について学んだ。アプリから災害についての知識や地域の防災情報が得ることができるで、災害時はまず命を守るために迅速な行動がとれるよう、普段からスマホアプリに慣れておくことが大切であると痛感した。</p> <p>募集にあたり、電話・窓口での申し込みが17人 電子申請が6人、計23人だった。アンケートから広報誌から情報を得ている70歳以上の方が多いことがわかった。QRコードからも講座の申し込みができるることを伝え、電子申請を推進していきたい。</p>			

●順天堂大学さくらキャンパス見学

事業参加者	大人対象事業			
ねらい	生活する印西市内の施設見学等をとおして、印西市の良さを再確認する。			
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）			
定員	30人			
受講者数	30人			
受講率	100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	9月12日（金）	順天堂大学さくらキャンパスを見学する。	順天堂大学 職員
				30人

参加者合計	30人
講座を 終えて	<p>行程は、健康に関する講和→学食体験→施設見学→啓友館（順大グッズ販売）で、翌日から行われる世界陸上出場のオーストラリア・ニュージーランドの選手が事前練習をしているという情報を得て、ますます興味がわいての見学だった。施設見学は3グループに分かれ各グループ学生2人が案内してくれた。オリンピック選手を輩出した体操競技場や、数々のトロフィーやオリンピックのユニフォーム、種目別の体育館、プール、市民にも開放している診療所（内科・外科）等も見学することができた。参加者からは「学生の説明が良かった」「有意義な時間だった」という感想が多数あった。</p> <p>募集については、QRと窓口電話受付を併用としたが、大人事業では併用が望ましいのではないか。アンケートは、QRからと紙との2種類用意し、10名はQRからの回答が得られた。</p>

●体幹をきたえよう！

事業参加者	大人対象事業			
ねらい	体幹ストレッチを学びながら、今後の健康づくりに活かすきっかけとする。			
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）			
定員	20人			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	10月 ※予定	正しい姿勢、腰痛予防、疲れにくくなる体幹を鍛える方法を学ぶ。	土井 さやか
参加者合計	人			
講座を 終えて				

●お正月飾りを作ろう

事業参加者	大人対象事業			
ねらい	実際にわらを萎えて自分のお正月飾りを作り日本の生活文化を感じる。			
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）			
定員	15人			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	11月 ※予定	お正月飾りを作る。	愛郷クラブ
参加者合計	人			
講座を 終えて				

●子どもが喜ぶおかずケーキ

事業参加者	大人対象事業			
ねらい	季節に合わせた野菜を使って、毎日の食事を豊かにする。			
対象	市内在住・在勤者（18歳以上）			
定員	16人			

プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月 ※予定	季節の野菜を使って、おいしく簡単に子どもが喜ぶ料理作りを学ぶ。	平野 郷子	
参加者合計	人				
講座を 終えて					

4. 印旛公民館

当初計画（令和7年3月公運審）	変更点等
こども対象事業	
1. 親子力又ー教室	
2. 夏休み工芸教室	
3. 夏休み科学教室	
4. 印西の民話を学ぼう	実施日を12月→1月17日（土）に変更
5. 書初教室	事業名を「冬休み書き初め教室」から変更
6. 親子おもしろレク体験	新規
7. 親子で学ぶお金の基本講座	新規
大人対象事業	
1. みんなのいけばな教室	
2. 癒しのアロマ	
3. スワッグ作り体験	新規
4. はじめてのyoga	
5. 東国三社詣	新規
6. おとなの工芸教室	
7. 竹あかり教室	

●親子力又ー教室

事業区分	こども対象事業						
ねらい	印西市民に最も身近な水辺である印旛沼の近くのプールで、親子で力又ーの操縦に挑戦する。午前は小学1年生～3年生と保護者・午後は小学4年生～6年生と保護者を対象に2部制で行い、親子で絆を深めつつ、自然と触れ合う大切さと喜びを味わう。						
対象	市内在住者（小学生と保護者） (午前の部は小学1年生～3年生と保護者、午後の部は小学4年生～6年生と保護者)						
定員	各部12組24人						
受講者数	第1回（午前の部）		12組24人	第2回（午後の部）	12組24人		
受講率	第1回（午前の部）		100%	第2回（午後の部）	100%		
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者		
	1	7月5日（土） ※午前の部	実際に力又ーに乗って操縦の方法を学び、自然と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。	I S J 力又ー同好会	8組 16人		
	2	7月5日（土） ※午後の部			10組 21人		
参加者合計	18組 37人						
講座を終えて	当日は日差しが強く、開講の挨拶で水分補給の励行と体調不良時の速やかな申告を伝えた。午前の部では、水の事故を防ぐため、念入りな準備体操を行い、救命胴衣を着用した上で、親子と指導員がマンツーマンでパドルの使い方や力又ーの乗り方などの指導を行った。子どもたちは単独で力又ーに挑戦し、その後保護者と交代して練習を行った。親子で2つのグループに分かれてプール内を漕ぎ回り、						

	<p>衝突や反転もあったが、指導員のおかげで怪我もなく楽しむことができた。集合写真の撮影後には、スライダーを使ったプールへの飛び込み体験があり、水しぶきを楽しんだ。午後の部も午前と同様の内容で進行した。一年生も参加していたが、指導員の手厚いサポートにより特に問題なく参加できた。参加者からは次回への参加希望の声も多く、天候や安全対策にも恵まれ、充実したイベントとなった。</p> <p>なお、ISJとは平成9年（1997年）に同好会が設立された際に関係があった（印旛村教育委員会）、S（酒々井町教育委員会）、J（順天堂大学）の3つの頭文字である。</p>
--	---

●夏休み工芸教室

事業区分	こども対象事業					
ねらい	自分の手でオカリナ（土笛）や竹細工（竹かご）を作りあげることで、創意工夫を促し、豊かな感性を養い、ひとつの工芸作品を作り上げる喜びを味わう。					
対象	市内在住者（小学生） (小学1年生～3年生の場合は工作の難易度が高いため、保護者の付き添いを要する)					
定員	各部10人					
受講者数	オカリナの部 10人		竹細工の部 10人			
受講率	オカリナの部 100%		竹細工の部 100%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者	
	1	8月2日（土） ※オカリナの部 1日目	粘土を使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、粘土を固めてオカリナの形を作り上げる。形が出来上がったら翌日まで1日置いて乾かす。	間野 政勝	9人	
	2	8月3日（日） ※オカリナの部 2日目	前日に作ったオカリナの原型に穴を開けて、穴の大きさで奏でられる音の高低を調整し、ひとつのオカリナを作り上げる。		9人	
	3	8月9日（土） ※竹細工の部	約20本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることでひとつ竹かごを作り上げる。		10人	
参加者合計	28人					
講座を終えて	<p>夏休み工芸教室としてオカリナ作りと竹細工を開催した。オカリナ作りの初日には、参加者全員が集合時間に集まり、オカリナと楽譜が配布された。吹き方の指導を受けた後、参加者は粘土でオカリナの形を作成し、吹き口の位置を決めた。本体を二つに分けたところで、一日目は終了した。二日目には、オカリナをくりぬき、接着して名前を彫る作業を行った。参加者が熱心に取り組む姿が印象的であった。</p> <p>一方、竹細工教室では、参加者が深いかごと浅いかごのどちらかを選び、竹ひごが配布された。編む手順が難しいため、高学年でも保護者の助けが必要であったが、皆が見事に竹かごを完成させた。</p> <p>竹ひごの作成実演と体験も行われ、参加者は興味津々に取り組んだ。特に、竹を割る体験に参加した子どもたちは、成功した際の喜びを感じ、保護者から称賛を受けていた。</p> <p>オカリナ作りと比較して竹細工の方が難易度は高かったが、参加者は充実した時間を過ごせたようであった。参加者アンケートからも、その満足度の高さを窺うことができた。</p>					

●夏休み科学教室

事業区分	こども対象事業				
ねらい	小学生の理科離れが叫ばれて久しい中、身近にある材料を使い、理科を楽しく学べる工作物を作り上げ、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わうと同時に、理科の面白さを再認識する。				
対象	市内在住者（小学4年生～6年生）				
定員	各16人				
受講者数	平日版 こども21人 保護者13人		休日版 こども10人 保護者8人		
受講率	平日版 100% 休日版 63%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	8月21日（木）	理科に基づく工作物を作ることで、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、ひとつの工作物を作り上げる喜びを味わう。	日本大学 理工学部教授 大久保 尚紀	34人
	2	8月23日（土）	理科に基づく工作物を作ることで、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、ひとつの工作物を作り上げる喜びを味わう。		18人
参加者合計	52人				
講座を終えて	<p>例年は1回の開催であったが、申し込みが多く、受講できない方がいたため、今年度は開催回数を2回に増やし、曜日も休日と平日に分けて募集したが受付30分で定員に達し人気の高さを伺えた。また、インターンの学生が来館し、受付や子どもたちへの対応をお願いした。</p> <p>光にはさまざまな種類があり、その中でも紫外線で固まる性質を持つUVレジン液を使用した。型枠に数層に分けて流し込み、間にラメやパーツを入れ、UVライトで照射すると固まるため、最後にストラップを取り付けて完成させた。</p> <p>さらに、同席していた保護者からも興味が高まり、「やってみたい」という声が上がったため、急遽講師に対応していただき、親子ともに満足していた。</p>				

●印西の民話を学ぼう

事業区分	こども対象事業				
ねらい	印西市において古くから伝わる民話の「素話」を通して、地域がたどってきた歴史を知るとともに、地元への思いを育む。				
対象	市内在住者（小学生と保護者）				
定員	10組20人				
受講者数					
受講率					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	1月17日（土） ※予定	素話の読み聞かせ 印西市に古くから伝わる歴史に思いをはせる	素話ささのは会	
参加者合計					
講座を終えて					

●書初教室

事業区分	こども対象事業				
ねらい	冬休みの課題である書き初めを講師指導のもと書きあげる。伝統文化に触れ書道に対する関心を深めるとともに、毛筆の上達を図る。				
対象	市内在住者（小学3年生～6年生）				
定員	15名				
受講者数					
受講率					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	12月13日（土） ※予定	書道の練習、清書 最初に書いたものと最後に書いたものを比べて、自分がどれだけ教室の間に上達したかを確認し、達成感を味わう。	徳久 和歌子	
参加者合計					
講座を 終えて					

●親子おもしろレク体験

事業区分	こども対象事業				
ねらい	年齢や体力に関係なく、ほかの参加者との交流を楽しみながら体を動かす爽快感と達成感を味わう。				
対象	市内在住者（小学生と保護者）				
定員	20組40人				
受講者数	10組19人				
受講率	50%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月7日（土）	スポーツ・レクリエーション種目を体験	明治安田生命 保険相互会社	10組 19人
参加者合計	10組19人				
講座を 終えて	導入として、「リス」と言えば2人組に、「ゴリラ」と言えば3人組に素早く分かれるリズム遊びを行った。この遊びで場が和み、参加者たちの笑顔が広がった。 次に、スピードラダーゲッターというゲームを紹介した。このゲームでは、紐で繋げた2個のボールをはしごに向かって投げ、速さを競う。大人もこの競争に熱中し、楽しんでいる様子が見られた。 さらに、ペアリングキャッチという遊びも試みた。2つや3つのリングを同時に投げ、それをキャッチするのだが、参加者たちはその難しさに挑戦心を燃やしていた。 最後に、「ふらばーる」というゲームを行った。おにぎりのような形のボールを使い、ワンバウンドさせて相手に投げるものである。このボールは形がいびつなため、予想もしない方向に飛ぶことがあり、参加者の瞬発力が試されることとなった。 今回は、ニュースポーツと呼ばれる新しいスポーツを中心に活動を展開したが、その中にはコーディネーショントレーニングにつながる要素も含まれていた。これにより、親子間のコミュニケーションが				

	深まり、一緒に新しい体験を楽しむ姿が見られた。
--	-------------------------

●親子で学ぶお金の基本講座

事業区分	こども対象事業				
ねらい	タブー視される事の多いお金の話は金融リテラシーの低下にもつながる。トラブルに巻き込まれない為の基本を学ぶ				
対象	市内在住者（小学生と保護者）				
定員	20組40人				
受講者数					
受講率					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	1月24日（土） ※予定	お金のトラブルに巻き込まれない為の基本を学ぶ。	明治安田生命 保険相互会社	
参加者合計					
講座を 終えて					

●みんなのいけばな教室

事業区分	大人対象事業					
ねらい	日本の伝統文化である生け花を通して、礼儀や作法の向上を図るとともに、四季に思いを馳せて心に癒しを感じられるように理解を深める。また、お正月向けの草花を生けることにより、日本らしい新年の迎え方を味わう。					
対象	市内在住・在勤者					
定員	各回20人					
受講者数	5月 9人					
受講率	5月 45%					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者	
	1	5月31日（土）	春から初夏に見頃を迎える草花を使い、自然のままの美しさを実際に目にする喜びを感じると共に、ひとつの生け花の作品を作り上げる喜びを味わう。	池田 美枝子	9人	
	2	12月27日（土） ※予定	お正月に向けて華やかな草花を生けることで、年始を彩り豊かに楽しい気分で過ごすと共に、日本らしい新年の迎え方を味わう。			
参加者合計	9人					
講座を 終えて	※9月末までの状況 花材はビジョ柳、アリアム（タンチョウ）、なでしこ、ナルコユリの4種類で表示の順に生けていく。比較的に個人の感性を大切にし、自由に生けていただくが、中心となる大きな花材の長さや角度を決めてから進めた方が良いと指導があった。また、オアシスの用意はしてあったが柳が堅く重い為、剣山					

	に生けたい人もいたので急ぎで用意をした。 生けおわった人から講師の手直しを受け、講師が用意した暗幕の前で撮影した。他の人の花を順に見比べ感想を述べあうなど参加者の交流の場となった。
--	---

●癒しのアロマ

事業区分	大人対象事業				
ねらい	アロマテラピーの基本を学びながら、自然の草花の香りを通して心と体の内面を安定させることの大切さを学ぶ。また、心の状態が体の健康に深く結びついていることへの理解を深める。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	15人				
受講者数	15人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月25日（水）	アロマテラピーの基本を学びながら、講座の参加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、自分の内面を整えることを意識する。	前田 美紀	15人
参加者合計	15人				
講座を終えて	<p>今回のアロマテラピー講座では、ヒノキを用いた蒸留体験を通じて、エッセンシャルオイルの製造過程を学んだ。参加者は、理科の実験のように、蒸留装置に水を含んだヒノキを詰め込み、水を加えて沸騰させた。その際、装置の蓋の上に氷を乗せて蒸気を冷やし、ヒノキの香りが漂う蒸留水を採取した。蒸留水の表面には少量の油の膜が現れ、それがエッセンシャルオイルとなるものである。</p> <p>蒸留を行っている間には、ヒノキのおがくずを布製の袋に入れ、オイルを垂らして香りバッグ（サシェ）を作成した。さらに、完成した蒸留水を使用し、精製水と好みのエッセンシャルオイルを調合してオリジナルのアロマスプレーを作った。また、蒸留の過程で生じた残渣は参加者それぞれに分配した。最後に、トリートメントオイルも作成し、講座では3種類の持ち帰り品を用意した。</p> <p>参加者はこの体験を通じてアロマテラピーの多様な側面を学び、ヒノキの香りに包まれた有意義な時間を過ごすことができた。</p>				

●スワッグ作り体験

事業区分	大人対象事業				
ねらい	ヨーロッパでは魔除けの意味もあるスワッグ（壁飾り）を自分の手で創作を行うことで季節の移ろいやぬくもりを再確認し、作り上げる喜びを知る。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	10人				
受講者数	10人				
受講率	100%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	9月24日（水）	季節の植物を使ってスワッグを作成する。	長嶺 悅子	10人

参加者合計	10人
講座を 終えて	<p>今年度初めての新規事業であるが、定員を超える申し込みがあった。事業で使用した造花は、生花に近く色あせしづらいため、陽の光が入る場所でも見劣りしない点が好評である。</p> <p>正解はなく、個人の感性でバランスを重視し、後ろが平らになるようにするなどの要點はあるが、自由に作成することで、枝が大きく張り出したものや、逆に小さくまとめたものなど、飾る場所によってどのように作れることが楽しみであり、強みでもあるようだ。</p> <p>作成し終えた人から講師の手直しを受けたり、撮影したりし、他の人のスワッグを見比べ感想を述べあうなど参加者の交流の場にもなった。</p>

●はじめてのyoga

事業区分	大人対象事業				
ねらい	ヨガ(yoga)の基本を学びながら、心と体の内面の安定を感じるとともに、メンタルバランスの重要性について学ぶ。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	20人				
受講者数	8人				
受講率	40%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	
	1	9月30日(火)	ヨガの基本を学びながら、参加者同士親睦を深める。無理をせず、自分の内面と向き合う時間を意識する。	佐藤 洋子	
	2	10月7日(火) ※予定	前回の内容に引き続き基本的な動きを学ぶと共に、前回と同様に、無理をせず、落ち着いて行うことを意識する。		
	3	10月21日(火) ※予定	これまでの講座と比較してやや難易度の高い姿勢に挑む。無理をせず、自分の内面と向き合い、心の安定を意識する。		
	4	10月28日(火) ※予定	まとめとして、これまでの講座で学んできた姿勢を復習し、自分の内面とどれほど向き合えたかを考える。姿勢を作る際には、無理をせずに心の安定を意識してできたかを考えながら行う。		
参加者合計	8人				
講座を 終えて	<p>ヨーガは多くのポーズを含んでおり、「木」「山」「動物」「太陽」など、世界のあらゆる存在の名前が付けられていることが特徴である。これらは仏教のような視点で物事を捉える点が似ている。しかし、ヨーガはポーズだけでなく、呼吸法やマントラ(真言)を含めて実践することで、身体のこわばりが取れたり、動かしやすくなったりといった副次的な効果が得られるのである。</p> <p>教室ではまず、指や足指のマッサージを行った後、ポーズに移る。最初のポーズは「寝床のムドラー」であり、その名の通りベッドや布団の上でも行える。次に行う「シャヴァーサナ(屍のポーズ・瞑想)」はポーズの王様とされており、欠かすことのできない重要なポーズである。三つ目の「鶴のポーズ(バランス)」では、片足で立ちバランス感覚を確認した。</p>				

	講師からは「無理をしない」「他人と比べない」という重要な注意があり、「途中で帰りたくなったり、終了後に疲労を感じたりした場合は、それが過度な負荷のサインである」とのアドバイスがなされた。
--	---

●東国三社詣

事業区分	大人対象事業				
ねらい	古代ロマンを感じる関東有数のパワースポット、鹿島神宮、香取神宮、息栖神社を巡拝しながら歴史に触れ学ぶ機会とする。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	20人				
受講者数					
受講率					
プログラム	回 1	実施日 11月22日(土) ※予定	内容 鹿島神宮、香取神宮、息栖神社を巡拝しながら歴史について学ぶ。	講師等 職員	参加者
参加者合計					
講座を 終えて					

●おとの工芸教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	自分の手で工作物（竹かご）を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。				
対象	市内在住・在勤者				
定員	10人				
受講者数					
受講率					
プログラム	回 1	実施日 11月29日(土) ※予定	内容 約30本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることで、ひとつつの竹かごを作り上げる喜びを味わう。	講師等 間野 政勝	参加者
参加者合計					
講座を 終えて					

●竹あかり教室

事業区分	大人対象事業				
ねらい	竹林の整備で伐採した竹を有効活用して工作物（竹灯ろう）を創作する。年末に開催することで正月用の飾りにでき、使用後は竹炭にもできる。このことから、参加される皆様の創意工夫を促すだけでな				

	<、自然資源を有効に活用することによって、良好な自然環境を維持することの重要性を学ぶ。			
対象	市内在住・在勤者			
定員	12人			
受講者数				
受講率				
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	12月10日（水） ※予定	1本の竹を1節ずつ分け、表面にデザイン画を貼り付け、ドリルで穴を開け、中に光源を入れて完成させる。	職員
参加者合計				
講座を 終えて				

5. 本塙公民館

当初計画（令和7年3月公運審）	変更点等
こども対象事業	
1. こども和太鼓教室（低学年コース）	
2. こども和太鼓教室（中高学年コース）	
4. こども生け花教室	
5. 書き初めひろば	
6. わくわくスポーツ教室	・回数の見直し
7. ふるさと再発見	
大人対象事業	
1. わら細工講座	

●こども和太鼓教室（低学年コース）

事業区分	こども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	市内在住者「小学1年生～2年生」				
定員	12人				
受講者数	4人				
受講率	30%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月29日（日）	太鼓で遊ぶ、リズムに合わせ身体を動かす	印西夢太鼓	4人
講座を終えて	こども和太鼓教室は昨年度に続き今年度も無事に実施することができた。講師の都合上例年の講師ではなく、印西夢太鼓に講師を引き受けていただいた。最初は、和太鼓についてのクイズ形式の質問にこどもたちが答えて、和太鼓についての基礎的な事項を学んだ。その後、実際に印西夢太鼓の演奏を聴き、こども一人に一人ずつ講師がつき、実際に和太鼓を叩いた。限られた時間ではあったが、こどもたちだけでなく、保護者の方々からも、好評のお言葉を頂くことができた。				

●こども和太鼓教室（中・高学年コース）

事業区分	こども対象事業				
ねらい	日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。				
対象	市内在住者「小学3年生～6年生」				
定員	12人				
受講者数	8人				
受講率	60%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	6月29日（日）	基本的な動作、色々なリズムで打つ	印西夢太鼓	8人
講座を終	こども和太鼓教室は昨年度に続き今年度も無事に実施することができた。講師の都合上例年の講師ではなく、印西夢太鼓に講師を引き受けていただいた。最初は、和太鼓についてのクイズ形式の質問にこどもたちが答えて、和太鼓についての基礎的な事項を学んだ。その後、実際に印西夢太鼓の演奏を聴き、こども一人に一人ずつ講師がつき、実際に和太鼓を叩いた。限られた時間ではあったが、こどもたちだけでなく、保護者の方々からも、好評のお言葉を頂くことができた。				

えて	く、印西夢太鼓に講師を引き受けていただいた。最初は、低学年コースと同様に、和太鼓についてのクイズ形式の質問にこどもたちが答えて、和太鼓が何で作られているかなどの、和太鼓の基礎的な事項について学んだ。実際に、印西夢太鼓の演奏を聴き、その後、実際に和太鼓を叩いた。和太鼓のばちの持ち方や和太鼓の叩き方をこども一人につき、講師一人ずつ付き、指導した。印西夢太鼓の演奏について、こどもたちや保護者からも「感動した」などの好評のお言葉をいただくことができた。
----	--

●こども生け花教室

事業区分	こども対象事業			
ねらい	日本の伝統文化である生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。			
対象	市内在住者「小学生」			
定員	10人			
受講者数	9人			
受講率	90%			
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	9月13日（土）	生け花の基本を学びながら表現力を養う	菊地 愛子
	2	9月20日（土）	生け花の基本を学びながら表現力を養う	菊地 愛子
講座を終えて	各回ともにハサミの扱い方、花の切り方、挿し方、花材の説明等が行われ、実際に器に挿してみた。1回目は高さのある花器を使用して横にも広がりのあるアレンジメントを学んだ。花に高低差をつけることで、バランスよく活ける事が出来た。2回目は、四方から見える生け方を学んだ。花を深く挿したり、浅く挿したりで高低差をつけバランスよく生けた。各回とも一人ひとりの個性が表われ、素敵な作品に仕上がった。先生から、『修了証書』が渡され、終了となった。			

●書き初めひろば

事業区分	こども対象事業			
ねらい	書の伝統と文化の理解を深め尊重する態度を養い、書くことの大切さを育てる。また、書道を通して姿勢や心の落ち着きなどを自ら体験し学ぶ。			
対象	市内在住者「小学生」			
定員	15人			
受講者数				
受講率				
プログラム	回	実施日	内容	講師等
	1	12月20日（土） ※予定	冬休みの宿題として出された課題の練習	小林 みどり
講座を終えて				

●わくわくスポーツ教室

事業区分	こども対象事業				
ねらい	楽しく遊びながら運動能力等を伸ばせるコーディネーショントレーニングを実施。適応力や柔軟な考え方の育成につながり、発達が著しい時期に運動技能や能力を伸ばす。				
対象	市内在住者「小学生」				
定員	20人				
受講者数	第1回 13人 第2回 12人				
受講率	第1回 65% 第2回 60%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月26日（土）	小学生のためのコーディネーショントレーニング①	順天堂 大学学生	13人
	2	8月16日（土）	小学生のためのコーディネーショントレーニング②		12人
	3	10月11日（土） ※予定	小学生のためのコーディネーショントレーニング③	順天堂 大学学生	
	4	11月22日（土） ※予定	小学生のためのコーディネーショントレーニング④		
講座を終えて	初回は、小さなボールを使った遊びやドッヂボール等、球技形式の運動を行った。2回目は、主にペガーボールを行った。運動順天堂大学の学生の指導により、3回目以降も参加者の年齢に合わせた様々なコーディネーショントレーニングを行う予定。				

●ふるさと再発見

事業区分	こども対象事業				
ねらい	本塙地域に残されている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介していく。身近な動植物と触れ合い、自然環境への関心や理解を深める機会を提供するとともに環境保全意識の向上に寄与する。				
対象	市内在住者「小学生と保護者」				
定員	20人				
受講者数	第1回 20人 第2回 7人				
受講率	第1回 100% 第2回 35%				
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	7月5日（土）	ホタル観察会	里山の会 ECOMO	20人
	2	7月12日（土）	蝶とトンボの観察会		7人
	3	11月8日（土） ※予定	秋の自然観察会		
講座を終えて	ホタルの観察会は2年ぶりの開催ということもあり、里山の会エコモの方々からも無事に開催できてよかったですなどの声を聞くことができた。参加者の方々からもホタルの光を見つけると喜びの声が聞こえ、「参加してよかったです」、「また来年も参加したい」などのお言葉をいただくことができた。				

	蝶とトンボの観察会も里山の会 ECOMO の方々を中心に、蝶やトンボをはじめ、様々な昆虫を楽しんで観察することができ、参加者の方々からも大変好評だった。
--	--

●わら細工講座

事業区分	大人事業				
ねらい	わら細工により伝統的風習の意味や慣わしなどに触れて、物づくりの喜びを感じてもらう。				
対象	「市内在住者（20歳以上）」				
定員	12人				
受講者数					
受講率					
プログラム	回	実施日	内容	講師等	参加者
	1	1月24日（土） ※予定	草履づくり	岩井 猛和	
講座を終えて					

7. 主催事業月別参加者数

令和7年度上半期の主催事業の参加者数は次のとおりとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
中央 (前年度比)	0 -	14 3	24 △ 1	48 4	33 △ 7	21 △ 18	140 △ 19
小林 (前年度比)	30 15	61 43	119 △ 97	96 31	61 61	37 △ 90	404 △ 37
そうふけ (前年度比)	0 -	0 -	15 △ 5	103 17	79 7	64 39	261 58
印旛 (前年度比)	0 -	9 -	34 20	37 △ 47	80 73	18 5	178 51
本塙 (前年度比)	0 -	0 -	12 12	40 40	12 12	9 9	73 73
計 (前年度比)	30 15	84 46	204 △ 71	324 45	265 146	149 △ 55	1,056 126

《団体育成事業》

各公民館等においては、利用サークル等が自主的かつ円滑な学習が行えるよう指導及び支援を行っている。また、公民館利用サークル連絡協議会加盟サークルが活動成果の発表を行う「まつり」の運営支援を行っている。

本塙公民館及び中央駅前地域交流館の改修工事に伴い、当該施設で活動しているサークルに対しては、他の公民館等を利用するよう指導及び支援を行った。

●公民館まつりの実施状況

- ・中央公民館…みなづき祭

実施日：中止

来場者：〇人

- ・小林公民館…小林コミュニティプラザまつり

実施予定日：11月15日（土）～16日（日）

- ・そうふけ公民館…ふれあい文化館まつり

実施予定日：11月9日（土）～11月10日（日）

- ・印旛公民館…いんば公民館まつり

実施予定日：11月9日（日）

- ・本塙公民館…本塙公民館まつり

実施予定日…12月7日（日）

- ・中央駅前地域交流館…新複合施設整備事業に伴う改修工事や旧駐車場利用不可等のため中止

●令和7年度各公民館等利用サークル連合組織状況（9月末日現在）

- ・中央公民館利用サークル懇談会…25団体

- ・小林コミュニティサークル連絡協議会…17団体

- ・そうふけ公民館利用サークル協議会…23団体

- ・印旛公民館利用サークル協議会…14団体

- ・本塙公民館サークル連絡協議会…13団体

- ・中央駅前地域交流館利用団体懇話会…32団体

«個人学習支援事業»

市民の個人学習の推進を図るため、中央公民館、そうふけ公民館、印旛公民館及び中央駅前地域交流館では常設の学習室を設置するとともに、他の公民館では事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行った。なお、令和7年度上半期の利用者数は次のとおりとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
中央 (前年度比)	21 1	11 △ 8	17 △ 12	17 -	15 △ 3	1 △ 6	82 △ 28
小林 (前年度比)	22 5	18 △ 11	22 △ 17	30 △ 12	47 △ 31	34 -	173 △ 66
そうふけ (前年度比)	117 7	122 △ 14	170 △ 54	219 24	332 71	158 △ 31	1,118 3
印旛 (前年度比)	5 2	3 1	0 △ 1	2 △ 2	2 △ 11	3 2	15 △ 9
本塙 (前年度比)	0 -	0 -	0 -	2 2	5 5	2 2	9 9
計 (前年度比)	165 15	154 △ 32	209 △ 84	270 12	401 31	198 △ 33	1,397 △ 91

《貸館事業》

市民、地域団体及び利用サークル等に、社会教育、生涯学習、会議及び交流の場を提供し、公民館及び交流館を学習拠点及び交流拠点として活用いただき、地域コミュニティーの醸成、社会教育・生涯学習の推進に努めていく。令和7年度上半期の公民館等利用者数は次のとおりとなる。

なお、主催事業参加者及び個人学習室利用者もカウントしたものとなる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
中央 (前年度比)	1,653 14	1,212 △ 476	1,349 △ 1,518	1,162 222	896 195	3,211 1,607	9,483 44
小林 (前年度比)	1,553 △ 41	1,270 64	1,710 85	1,713 △ 231	1,155 △ 88	1,468 △ 1,425	8,869 △ 1,636
そうふけ (前年度比)	3,340 22	2,415 △ 523	3,253 △ 533	4,020 △ 412	3,298 12	2,901 △ 194	19,227 △ 1,628
印旛 (前年度比)	411 18	402 △ 84	1,990 1,414	897 1	794 218	881 379	5,375 1,946
本塙 (前年度比)	542 542	601 601	912 912	1,355 1,355	1,693 1,693	1,520 1,520	6,623 6,623
計 (前年度比)	7,499 555	5,900 △ 418	9,214 360	9,147 935	7,836 2,030	9,981 1,887	49,577 5,349

また、参考として令和7年度上半期分の施設使用状況を利用率によって算出した。利用率の算出方法は、1日を午前・午後・夜間（開館日のみ）の3コマでカウントして算出したものとなる。

	時間帯（午前・午後・夜間）コマ数による利用率			夜間開館曜日	稼働時間帯数	貸館部屋数
	使用コマ数	総コマ数	利用率			
中央	1,071	3,093	34.6%	水・土	349	11
小林	1,139	3,490	32.6%	水・土	349	10
そうふけ	1,625	3,141	51.7%	水・土	349	9
印旛	458	2,800	16.4%	木・金	350	8
本塙	724	4,485	—	火・木	345	13
計	5,017	17,009	29.5%	—	—	—

※1 中央公民館；第3会議室、研修室、学級講座室、調理室、和室は5月・6月空調機設置工事のため部屋使用中止⇒算出せず

※2 中央公民館；講堂は7月～9月空調機故障により使用中止⇒算出せず